

第9回 積雪寒冷地における道路舗装の長寿命化と

予防保全に関する検討委員会

議事概要

■ 第9回検討会：令和6年10月25日（金）

【議 題】

- ・ 耐久性の高い舗装を設計・施工する技術について
- ・ 効果的な点検・診断技術について
- ・ 効果的な補修技術について

【議事概要】

- 事務局より今年度に試験施工を実施している技術の状況報告を行い、質疑応答を行った。また、HibiMiru（ヒビミル）の点検予定、常温合材の評価方法等の検討状況、今後の検討の流れについて報告し、質疑応答を行った。議事内容は以下の通りである。

◇耐久性の高い舗装を設計・施工する技術について

- ・ コンクリート舗装目地部における防錆対策の強化は、寒冷地におけるコンクリート舗装の高耐久化を図ろうとする非常に面白い検討である。
- ・ 良い技術が出てきたら、それが最大限効果を発揮できるような施工も必要である。北海道の施工条件、供用条件も含め、どのような施工方法が最も適切なのかを盛り込んだマニュアルが出来たら良いと思う

◇効果的な点検・診断技術について

- ・ HibiMiru（ヒビミル）を使ってみて意見をフィードバックしてもらいたい。

◇効果的な補修技術について

- 常温合材について、材料の性能を把握し現場で起きている事象を調査すれば、現場の適用性がわかり、室内試験の結果と合わせら、おのずと積雪寒冷地に求められる常温合材のリクワイヤメントが明らかになってくる。
- 本州の舗装と比べると北海道の舗装の状況は全然違うので、少しずつでも良い方向になると良い。

以上